



プロジェクト名称

避難者の“これまで”と“いま”と“これから”をつなぐプロジェクト

プロジェクト活動概要

2011年3月11日に起きた東日本大震災。地震に伴う大津波によって、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部では壊滅的な被害が生じました。震災から1年が経ち、求められる支援も変化してきました。私たちだからできる継続的な復興支援をしていきます。

活動状況報告 & 活動写真など【活動期間:2012年6月18日～9月30日】

福島県浪江町で300年以上続く伝統芸能の田植え踊り。請戸の田植踊りは福島県内の田植踊りの中でも、技巧的な歌で、衣装もきらびやかで美しく、振り付けはもっとも芸能化の進んだものと評価されています。しかし、震災により衣装、道具、資料などはすべてなくなってしまいました。伝統芸能を絶やさないため動き出しました。

東雲住宅で暮らす、田植え踊りの伝統を残そうと取り組む方と出会い、私たちもお手伝いさせていただくことになり、8月18、19日に行われた郷土芸能協会のセミナーでの田植え踊りの発表資料の作成のお手伝いをしました。

今後の活動計画、目標、意気込みなど

10月26日

27日 福島、二本松での田植え踊りの公演のお手伝い

実際に自分たちも現地に行き、田植え踊りの活動に関わることで、復興、伝統芸能の伝承に協力していきたいです。

また、被災地の現状に触れることで、新たに自分たちが協力できることはないか考えていきます。